

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 TODAY is New Life読売ランド前		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29 (回答者数)	11
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ワンストップサービス体制により、児童発達卒所後も放課後等デイサービスを継続して利用できる。	放課後等デイサービスの利用に向けた就学前相談を茶話会を通じて実施している。	移行をスムーズに行うために連携や早めの意向調査を行う。
2	公文、モンテッソーリ教具を使う机上課題の取り組みと運動機能向上のための運動プログラムが充実している。	一人一人の特性や成長段階を毎朝確認しながらプログラムの選定を行っている。	視覚的な見通しを持ってもらえるようなツールの使用、微細運動のさらなる向上のために課題を作成する。
3	音を使った音楽療法を行っている。	片付けや、インプットタイムなど音楽を使ったルーティーン化を通して音を聞いて動く力を養っている。	活動の区切りなどでも音楽を用いて促しを行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	スタッフによる専門知識やスキルの不足	研修などで勉強を行っているがその他の十分な教育の時間を捻出できていない。	過去に行った研修の振り返りの時間を作り、受けて終わりにしない文化を作っていく。
2	職員の危機察知能力の不足	部屋が多い為死角が発生してしまうが、職員の位置取りに個人差がある。	安全対策としてどこが死角になるのかを事例検討し、死角が出来ない人員配置を考える。
3	職員の入れ替わりが多く、環境が安定しない	行政からの指示や急な退職などイレギュラーへの対応ができる会社の為、営業停止にはならない強みの半面現場の環境は安定しない。	誰が来ても一律の支援を行えるようにマニュアルを使った人材育成と属人性を無くしていく